

内川



内川小学校だより
第 5 号
2013. 4. 23. TUE

TEL:46-2705 FAX:46-2107

教育目標

- ☆生き生きとした内川の子ども
- ・進んで学び、よく考える子ども
- ・思いやりのある、やさしい子ども
- ・元気で、たくましい子ども



学校新聞は内川小 最優秀賞！



第48回県小中学校新聞・PTA広報紙コンクール（福島民友新聞社・県PTA連合会主催）学校新聞の部で内川小学校だより「内川」が最優秀賞に選ばれました。（学校新聞の部には10点の応募）<平成25年4月19日（金）の民友新聞記事でわかりました。>

平成24年度の学校だよりは、第1号「ご入学、ご進級おめでとうございます！（12.4.9）」から第50号「職業体験『パティシエ』ケーキを作る！（13.3.15）」、卒業2号「第135回卒業証書授与式 式辞！（13.3.22）」まで発行することができました。子どもたちの笑顔を中心に、学校での様々な様子を紹介してきました。今年度、18名の子どもたちの笑顔、成長をご家庭に届けていきたいと思ひます。

矢祭山みどりの少年団 結団式！



4月19日（金）、平成25年度の「矢祭山みどりの少年団」の結団式が、矢祭山公園で行われました。古張町長はじめ、菊池町議会議長、緑川議員、県南農林事務所森林林業部長の青砥さん、古張教育長、片野教育委員長、内川・真木野の区長さんなど、多数の来賓の方々が発見していただきました。

「矢祭山みどりの少年団」は昭和49年に結成され、今年で39年目をむかえ、県内では3番目に長い歴史を誇る少年団に、新入生4名が加わり18名で活動します。今年も、心に潤いをもたらず矢祭町の緑を守るため、矢祭山公園や矢祭山駅、学校周辺の環境美化や、樹木の観察や滝川溪谷散策、草花の栽培などを通して森林と親しみ、ふるさとの自然を守るための活動を行っていきます。

結団式では、団員を代表し、6年の鈴木亜利紗さんが誓いの言葉を述べました。終わりに、6年の沼端里紗さんの指揮で「団歌」を歌いました。



結団式の前行われた、「矢祭山公園の清掃活動」





【誓いの言葉】

- 1 緑に親しみ、緑を愛します。
- 2 みどりの少年団としての自覚と誇りを新たに、友情を深めます。
- 3 緑を守り、緑を育て、美しい郷土を作ることに努めます。



久慈川に稚鮎を放流「大きくなってね」！



「矢祭山みどりの少年団」の結団式を終え、次に向かったのは矢祭橋近くの久慈川です。久慈川第一漁業協同組合と矢祭町による「稚鮎」の放流が、本校18名の児童と関岡小3・4年生の児童によって行われました。この日放流された稚鮎は約400キロ（4万匹）で、体長11センチ前後の元気の良いものばかりで、バケツの中では勢いよく飛びはね、放流すると川の流れの中へと泳いでいきました。きれいな久慈川に、成長して元気で戻ってきてほしいですね。



「早く大きくなって戻ってきてね。」

古張町長と一緒に放流しました。



報道関係も多く、多くの子どもたちが取材を受けました。

